

杏心の丘は3周年を迎えました

7月1日にオープン3周年を迎える「杏心の丘」。自分で選ぶ「終の棲家」というコンセプトを守りながら試行錯誤の3年間でした。入居者の方が日々笑顔で過ごされ、ご家族も楽しみに訪問されているのを見て、「杏心の丘」の存在意義をひしひしと感じます。

今回は3周年の記念企画として、長く入居されている3組の方々にインタビューをしました。



藺田さん

3年間入居されて良かった点は？

「クラブ活動などを通して色々な方と知り合えること」

藺田さんは、朝4：30からの散歩を毎日欠かさず行われ、元気な挨拶とともに帰宅されます。グランドゴルフなども積極的に参加され、地域との関わりが深く、健康麻雀の仲間も多数見えます。本人曰く、「健康の為に何でも参加しますよ。」とのこと。毎日とても楽しく過ごされています。

奥 様：入居するまでは春日の一戸建て住宅に住んでいたのですが、悩んだあげくに手放して入居して3年が過ぎました。今では全く後悔なく自由に暮らしています。また、夫婦で介護福祉士さんと神戸に旅行に行けた事にも、とても感謝しています。

ご主人：食事も自由な時間に食べられるので満足です。



加藤夫妻



渡辺夫妻

奥 様：夜間気分が悪くなり、緊急通報装置で宿直者に部屋まで来て対応して頂いた事は非常に感謝しています。3年間住んでいると、顔馴染みになっていくので知っている人から診て頂くというのが心強いです。

ご主人：自由に出入りも出来て、職員の方とも家族のように話せるのも良いです。

夫婦円満で過ごされています。

毎年7月1日頃になると思い出すのが、食事の配膳下膳です。365日休みなく職員が事務所にいるのが安心の一つでもあります。開設当初は職員数も少なく、日曜祝日の出勤やサービスの一つである食事の配膳下膳も私が行っていました。すると、入居者の皆さんが私のエプロン姿を見て、「館長さんがなんばしよっとね」と、こそって手伝ってくれました。3年も経つと皆顔馴染みとなり、入居者同士で助け合いが始まっています。

浦上館長の
思い出



2階事務所スタッフ

栞永さん

笑顔で皆さんを

お迎えします！